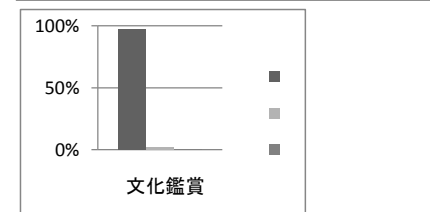
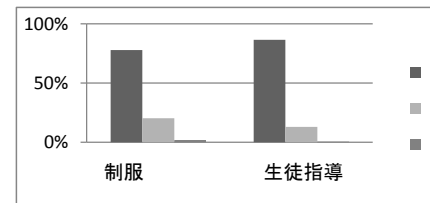
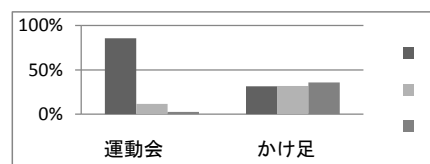
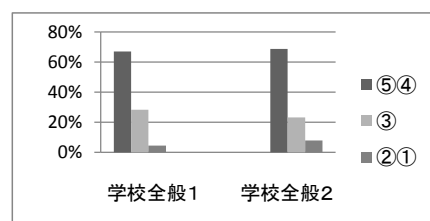
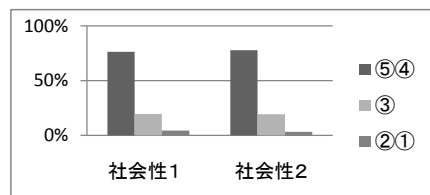
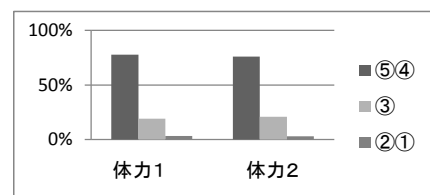
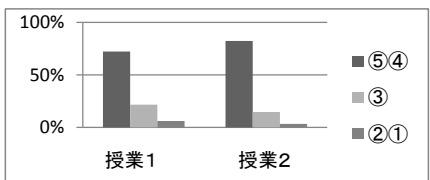
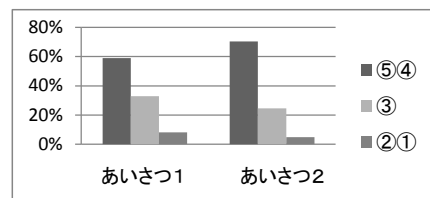


# 平成24年度 学校評価の集計結果について

鹿ノ台小学校  
校長 井岡 弘人

学校評価のアンケートにお答えいただき、ありがとうございました。また、今年度は下段の5項目の施策についてもアンケートに答えていただくとともに、多くのご意見をいただき大変ありがたく思っております。皆様方より返送いただいたアンケートの集計結果を中欄にグラフで表示いたしますとともに、右欄ではその結果をもとにした今年度の反省および次年度への対応策等をお知らせします。

		← 評価結果 →		
		あてはまる	あてはまらない	
		(5)(4)	(3)	(2)(1)
あいさつ1	子どもは、生活の中で進んであいさつをしている。	59%	33%	8%
あいさつ2	子どもは、公衆ルールや家庭で決めたままりを守ることができる。	70%	25%	5%
授業1	子どもは、授業の内容をきちんと理解している。	72%	22%	6%
授業2	子どもは、復習のために必要な宿題をきちんとしている。	82%	15%	3%
体力1	子どもは、学校でいろいろな遊びや運動を体験することができた。	78%	19%	3%
体力2	子どもは、健康の基礎となる基本的な生活習慣を身につけている。	76%	21%	3%
社会性1	子どもは、学校生活の中で「ヤッター」という達成感を味わうことができた。	76%	20%	4%
社会性2	子どもは、学校や地域で互いを認め合いながら仲良くすることができた。	78%	19%	3%
学校全般1	学校と保護者が良い協力関係を保つことができた。	67%	28%	5%
学校全般2	担任や学校は、さまざまな情報をきちんと保護者に伝えることができた。	69%	23%	8%



子供計画のアンケート項目は、去年度から年度当初にのぞつては里山目標に沿ったものとしています。質問があいまいだった2つの項目(授業2と体力2)以外の8項目は同じです。どうしても一般的な内容となるため、今回は、今年度あるいは前年度からの学校としての具体的な取り組みについて質問する5項目を追加いたしました。

## ※あいさつ1・2について

全国学力状況調査の結果から、奈良県の児童生徒の規範意識の向上が課題となっています。まず、きちんとしたあいさつができることが大切であると考え、あいさつ運動に取り組んできました。日頃から、学校や家庭、地域でも、あいさつからコミュニケーションを広げていくことが重要であると考えます。

## ※授業1・2について

授業2(内容の理解)が去年より10%上がりましたが、まだ70%台にとどまっています。教職員の授業研究を中心とした研修を深め、より楽しくわかりやすい授業を目指すとともに、家庭学習との連携に努めます。家庭での毎日のさりげない宿題・ノートのチェックや、子どもの意欲を引き出す言葉がけをお願いします。

## ※体力1・2について

成長期はもちろん、生涯にわたって元気な身体を保ち続けるためには、基本的な生活習慣をしっかり定着させるとともに、日頃から運動をして、身体を動かす楽しみを持たせることが大切であると考えます。今後も体育の授業や30分休みを中心に、芝生の運動場での外遊びや運動を奨励していきます。

## ※社会性1・2について

社会性を身につけることは、学校生活で教科学習と同じくらい重要な学習です。様々な達成感を体験しながら自分に自信を持つことによる自尊感情の育成とともに、他者も尊重できることを目指して学級活動や児童会活動に取り組ませていきます。

## ※学校全般1・2について

1・2ともに去年より15%程度上がりましたが、まだまだ低い値です。良い協力関係を築く前提は、情報の共有です。伝えるべきことがある場合は迅速に伝え、真摯に協力していきたいと思えます。

## ※下欄の5項目について

運動会、生徒指導、文化鑑賞については高い評価をいただきました。特に神奈川フィル公演については、その素晴らしさを家に帰って話した子ども達がたくさんいたようです。

ポロシャツについては、様々な意見があると思いますが、多くの方が良しとされました。制服については多種多様な考えがあると思いますが、現在の形を堅持しながら、改める要望が多い場合は育友会とも相談して共通理解を図りたいと思えます。

駆け足納め会については、悪い評価が良い評価を上回る結果となりました。多くの方から、地域の中で見守られながら声援を受けて走る事、また、競走することをすべきだという意見が寄せられました。逆に安全面から校内での実施を望む声もありました。駆け足納め会は、体育の学習とは切り離して、子どもたちが意欲を持って参加し楽しめる行事にすることを旨として、地域ぐるみの協力を得て実施したいと考え、検討しています。

この1年子どもたちは様々な体験をしました。楽しいこともつらいこともあったと思えます。日々の生活の積み重ねの結果が子ども時代を形成していきます。子どもの成長のためには、学校と家庭の人間同士の信頼と協力が何よりも大切です。日頃から緊密な連絡をとりながら、より確かな信頼関係を築いていきたいと思えますので来年度もよろしくお願います。

		良い評価 どちらでもなし 悪い評価		
運動会	運動会を10月第3土曜日にして、以前は10月に実施していた学習参観・懇談や1～5年生の校外学習を9月に実施した。	85%	12%	3%
かけ足	距離を決めて学校周辺を走っていたかけ足納め会を、運動場で一定時間内の各児童の距離を測る形態に変更して実施した。	32%	32%	36%
制服	ポロシャツの着用について、育友会のアンケートを参考にして、夏の半そでに続き冬の長そでも制服に準ずる扱いとした。	78%	20%	2%
生徒指導	生徒指導部を中心に、右側歩行や雨の日の過ごし方等を継続的に啓発し、学校生活の中での事故防止に努めた。	86%	13%	1%
文化鑑賞	洋画家の絹谷幸二さんや、フルオーケストラで神奈川フィル管弦楽団に来ていただいて、本物の芸術の身近な体験を図った。	97%	2%	1%